

令和6年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和6年(2024年)7月23日(火)10:00～11:30
- 会 場 横須賀市役所 3号館3階 302 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50音順)
笥 修一、柏木雅一、加藤明成、東海林義勝、高井 環
林 但、平井慶一郎、米本篤子
- 事務局 文化スポーツ観光部 倉林孝英部長
スポーツ振興課 高橋哲也課長、飯田武伸係長、前田幸一郎(記録者)
教育委員会事務局学校教育部保健体育課 小田耕生課長、津田尊夫係長
- 傍聴者 1名
- 議事内容 開会
1 委嘱書交付
2 横須賀市あいさつ
3 自己紹介
4 議 題
(1)委員長の互選について
(2)令和6年度スポーツ関係事業概要について
(3)令和6年度スポーツ関係事業(予定)について
5 報告事項
横須賀市の熱中症予防対策について
6 意見交換
- 資 料 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿
2 令和6年度スポーツ関係事業概要
3 令和6年度スポーツ関係事業(予定)
4 関係法令(参考資料)

【開 会】

事務局が令和6年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 委嘱書の交付

出席委員8名に委嘱書を交付した。

2 横須賀市あいさつ

倉林文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

3 自己紹介

委員および事務局が1名ずつ自己紹介を行った。

● 定足数の確認

12名の委員のうち8名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく過半数を超えていることから、会議は成立となった。

● 傍聴者の確認

傍聴者 1名

4 議 題

(1) 委員長の互選について

- ・事務局からスポーツ推進審議会条例に基づく委員長の責務を説明した。
- ・参加委員から特に意見が無かったため、事務局から同審議会への実績やスポーツの指導歴等から東海林委員を推薦し、全委員同意のもと東海林委員を委員長及び当会議の議長とした。
- ・委員長職務代理者として、東海林委員長が加藤明成委員を指名し承認された。

委員長あいさつ

皆様のお力添えを頂きながら、スポーツの発展や推進に尽力していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

(2) 令和6年度スポーツ関係事業概要について

● 概要説明

事務局が資料1をもとに説明した。

【要旨】

- ・例年通り、市民スポーツ教室や市民レクリエーション行事などを行う予定。
- ・南体育会館は、天井等改修工事を終了し令和6年7月から運用を開始した。競技場、小体育室ともに空調設備が新設された。
- ・北体育会館温水プールは、天井照明のLED化に伴う工事で令和7年1月から3月まで休館する予定。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

委員

学校開放の予算は、小学校、中学校ともに均一に割り振られているのか？
また、主にどのようなものに使われているかを教えてほしい。

事務局

主な支出は、体育施設の鍵の開け閉めを行う管理人に報奨金として支払っている。
管理人を要しない自主管理方式への移行を進めているが、令和6年度の時点では、すべての学校が移行できていない。また、校舎の構造上、移行できない学校もある。

(3) 令和6年度スポーツ関係事業（予定）について

● 概要説明

事務局が資料2をもとに説明した。

【要旨】

- ・6月の開催分まで終了している。大きなところでは、今週末に横須賀出身の広島東洋カープ 秋山選手のお名前を冠した「秋山翔吾カップ」が開催されます。
- ・8月以降は、スポーツ大会やスポーツフェスタを、従来通り開催する予定です。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

委員

予定表に出ている行事について、全委員に対して出席依頼があるのか。

事務局

全てではないが、主な行事についてはご案内を出します。ご都合のつく範囲でご出席いただければ結構です。

教育委員会の行事については、全委員に出してはいない。

事務局

全国・関東大会出場選手激励会など表の中の7つの行事は教育委員会の行事である。
また、資料1事業概要についても学校体育関係は教育委員会の所管ですのでご承知おきいただきたい。

委員

教育委員会とスポーツ振興課はどのように役割分担がされているのか。

事務局

学校体育と社会体育は、もともとは教育委員会の1つの課で所管していたが、平成29年度にスポーツが地域経済とつながることから、社会体育を市長部局に移した経緯がある。セクションとしては分かれたが、同じスポーツを所管する中で共通する部分が多々あるため、お互いに連携しながら取り組んでいる。

(6) 報告事項

● 概要説明

事務局が資料「スポーツ活動における熱中症事故の防止について」をもとに説明した。

【要旨】

- ・当該資料は、熱中症特別警戒アラートが創設されたことに伴い、スポーツ振興課からスポーツ団体に対して、熱中症による事故防止対策を依頼したものである。
- ・熱中症特別警戒アラートが発令された際には、市内の屋外体育施設の貸し出しを一切停止する。
- ・熱中症警戒アラートの発令時については、貸し出しはするが、こまめな休憩や水分補

給、真昼の時間帯を避けるなど、十分な熱中症対策を行ったうえで運動するよう依頼を行っている。

5 意見交換

□ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様には忌憚のないご意見を頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

□ 委員

今年も全国障害者スポーツ大会が、佐賀県で10月26日から28日の3日間行われる。神奈川県の手選手団62名のうち、横須賀市在住の選手は6名参加する。そのうち、誰でもが楽しむことができるようにと、視覚障害者ソフトから、グランドソフトボールに名称変更になった競技に、横須賀市から2名(内1名はプレイングマネージャー)が選抜され参加する。また、陸上1名、フライングディスク2名、水泳、卓球が各1名参加する。フライングディスクの1名は大会3連覇がかかっている。NHKで放映されるので、ご覧いただければと思います。

横須賀市から奨励金をいただき、壮行会・報告会に参加させていただける。特に壮行会・報告会は、国体の壮行会等と別個に行う市町村が多い中、一緒にやるのは珍しく、その点、横須賀市は進んでいる。選手にとっても励みになる。

□ 委員

市民大会の会場がなかなか取れなく苦労している。ある程度優先的に会場が取れるようにしてほしいと、2、3の競技団体から聞いている。

□ 事務局

以前から同様のご意見いただいており、2年前から1団体1日は体育会館の優先予約が取れるように変更している。一方、数日間にわたるバスケットボールの大会などは、その日数分を確保したいとのご要望があるが、限られた施設なのでご理解いただけるようお願いしたい。

□ 委員

南体育会館に空調が入ったので、良い環境で運動ができるようになった。しかし、観覧席が暑い。大会でも2名が観覧席で熱中症になった。

□ 事務局

南・西体育会館は、壁にパイプを這わせ、そこに冷水、暖水を通して空調を行う輻射式の空調設備を導入した。従来の空調のように風が出ないため、バドミントンや卓球など風に影響される競技の際にも利用できる、競技に重きを置いた空調となっている。

ただし、冷気は下に沈むため、競技場は涼しいが、上にある観客席は冷えない。課題は認識しているので、工夫しながら使っていきたいと考えている。

□ 委員

学校の大会では、命が大切なので多少風があってもそれを優先している。北体育会館の空調導入時には、考慮していただきたい。

□ 事務局

各体育会館の特定天井の改修を行うにあたり、競技場に空調を導入してきたが、北体育会館の競技場は3階にあるため、室外機を設置する場所が確保できなかった。

その後、技術革新によりいろいろな空調設備が登場してきているので、将来的には北体育会館にも設置できる可能性があると考えている。

□ 委員

生涯スポーツ推進の視点から、高齢者のスポーツに力を入れていただきたいと考えている。高齢者が元気でいれば介護保険を使う必要もない。ヴェルクやすこやかんの高齢者の利用料金を無料にするとか、川崎市に例があるが、ゴルフ場の優待券を支給するなどすれば、高齢者のスポーツ人口も増えていくのではないか。この審議会の間でも考えていきたい。

□ 事務局

現在、市が行っている施策としては、高齢者の方にプール券をお渡ししている。高齢者の方に何が必要なのか、今後検討していきたい。

□ 委員

高齢者になると遠出はなかなか難しい。地域でできることも考えないといけない。その点、ラジオ体操はよいと思う。高齢者はなかなかしゃべる機会もないので、ラジオ体操の場での会話もできる。

□ 委員

ラジオ体操連盟が28年で100周年を迎えるため、一生懸命活動をしている。ただ、自分の住んでいる地域もそうだが、子供が減ってきており子供会単独でラジオ体操をすることが難しくなってきており、町内会と連携しての開催を始めている。

令和4年度までは神奈川県が積極的にラジオ体操カードを配布するなどしてきたが、それ以降は活動が停滞していると感じている。

□ 事務局

ラジオ体操は、健康部健康増進課が所管している。スポーツ振興課でもラジオ体操カードを配るなど行っている。今年度、横須賀市にもラジオ体操連盟支部が立ち上げられた。健康部に登録されているラジオ体操の団体が、連携しながら講習会などを行っていくようである。

□ 委員

高齢者の生涯スポーツは、介護予防として介護予防課が所管している。障害者のスポーツもそうだが、スポーツの視点でないため裾野が広がっていかない。

障害者スポーツを広げる意味で、小中学生に対しての対応がない。今年から、生徒の福祉体験に障害者スポーツを組入れたが、福祉の視点からのスポーツではなく、若いうちからスポーツの視点で障害者スポーツ捉えてほしい。あくまで要望ですが、ノウハウや人材面等での協力ができるので、教育委員会としても特別授業としての取り入れを検討してほしい。

□ 事務局

大前提として、指導要領も従前から大きく変わってきている。スポーツについても、運動をする、技能を高めるだけでなく、支える、見る、知るといった様々な視点から、運動に対して親しむ態度を育成する授業になっている。小・中学校での総合的学習の時間のなかで、車いす体験やボッチャを行っている。

□ 事務局

スポーツの切り口で切っているのに、市役所のセクションが分かれているところではあるが、スポーツを行う人それぞれに、配慮すべき事項やルールがあるため、専門的なノウハウ、知識を持った方に頼らざるを得ない。財源的なこともあり手が届かないところもあるが、多くの人に楽しんで、参加いただけるよう、市役所内のセクションで連携しスポーツの普及に尽力していきたい。

□ 委員

市民プールが徐々に廃止され、最終的に馬堀と村岡のプールだけが残ると聞いている。廃止されるプールを使っていた学校についてどのように対応していくのか。バスの送迎があっても移動時間のロスが大きいため、子供たちにも教師にも負担が少なくなるような方法を考えてほしい。学校体育の水泳授業について、どのように考えているのか。

□ 事務局

大前提として、水難事故から命を守るためにも、学校教育の中で水泳の授業を行っていく方針は変わらない。プールがないからできないとは言えない。プールの削減については、屋内にあるプールや民間のプールの活用も含め全市オールで考えていく必要あると考えている。子供達、先生方に負担なくするための解決策を考えていく必要はあると認識しているが、財政も含めてなかなかむつかしい。

□ 事務局

現時点での対応事例として、プールがない汐入小学校(発言では沢山小学校でしたが誤りのため訂正します)、逸見小学校は、すこやかんの室内プールで授業を行っている。イトマンスイミングスクールに、送迎も含めた授業自体を委託している例もある。プールがない学校の水泳授業はできるだけサポートしている。

□ 委員

市民スポーツ教室で講座を行っている。以前は広報よこすかにしっかりと講座の情報が記載されていたが、今は「ありますよ」程度の記載しかされなくなった。QR コードをご覧ください、市民スポーツガイドをご覧くださいとは書かれているが、QR コードはお年寄りの方には難しく、スポーツガイドもどこに行けば手に入るのかわからず、とにかく記載された情報が少ないため市民の方が困っている。広報は、講座や行事を市民の方にお知らせするための手段なので、ぜひ、内容をもう少し掲載できるようにしてほしい。

□ 事務局

数年前から、同様のご意見をいただいております、スポーツ課としても苦慮している。昨今の広報よこすかは、非常に見やすくはなったが情報量を載せられなくなった。目に優しいデザインではあるが、載せたい情報を載せられなくなった。以前のように開催日等のすべての情報を掲載することはできない。限られた最低限の文字数で、なるべく情報を伝えられるよう工夫していく。

- 以上で、審議が終了し閉会した。